

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療秘書・事務学科	夜・通信	1,252 時間	160 時間 (2 年制)	
	IT 医療情報学科	夜・通信	1,253 時間	160 時間 (2 年制)	
	調剤薬局・登録販売者学科	夜・通信	1,232 時間	160 時間 (2 年制)	
	医薬品・登録販売者学科	夜・通信	1,127 時間	160 時間 (2 年制)	
	販売スペシャリスト学科	夜・通信	1,097 時間	160 時間 (2 年制)	
	オフィスビジネス学科	夜・通信	814 時間	160 時間 (2 年制)	
	ビジネス秘書・事務学科	夜・通信	730 時間	160 時間 (2 年制)	
	イベントビジネス学科	夜・通信	878 時間	160 時間 (2 年制)	
	事業創造学科	夜・通信	968 時間	160 時間 (2 年制)	
	ビジネスライセンス学科	夜・通信	341 時間	80 時間 (1 年制)	
(備考) IT 医療情報学科は 2021 年度完成予定。調剤薬局・登録販売者学科は医薬品・登録販売者学科に名称変更したため 2 年次学生のみ在籍。(医薬品・登録販売者学科は 1 年次のみ在籍)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日 ～2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日 ～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日 ～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月31日 ～2023年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校におけるシラバスとは学生が授業科目の内容や概要、計画などを理解し準備学習等を進めるための基本となるものであると考える。つまり、学生が何を目的とし、何をいつ学んでいくのかを示すとともに、何を身につけるのかという学習への動機づけにつながるものである。そのため、「学生の目線に立ってわかりやすい記述」でなければならない。また、シラバスを公表することで、本校の教育内容の詳細を本校のステークホルダーが把握するための資料となる。さらには授業担当教員が他の授業科目のシラバスを参考にすることで、自らの授業内容への改善につながることも期待できる。</p> <p>シラバスは各授業担当者が決定し次第、作成に取りかかるものとし、前年度の3月初旬に提出および、3月末には本校のホームページ内にて公表を行っている。</p> <p>様式には以下の点を共通記載項目とし、作成者によるバラつきが生じないように標準化を図る。</p> <p>① 授業科目の基本情報(科目名、必修・選択、授業時間総数)、対象学科・学年) ② 担当教員(実務経験の有無と職種、業務内容) ③ 授業概要 ④ 到達目標 ⑤ 成績評価方法・基準 ⑥ 資料教材・教具 ⑦ 授業にあたっての留意点 ⑧ その他</p> <p>本校は学科が多様化していることから、様式に沿っての記載が難しい場合がある、そのため留意点やその他といった項目に記載して補うこととする。</p>	
授業計画書の公表方法	NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 検定関連科目は、特に検定結果を重視して評価する。 検定のない科目は、科目終了時の評価（試験・レポート）を重視してする。 検定結果によらない科目または検定取得状況以外の評価については、100点満点換算で次の基準を目安とする。 A (100～80) B (79～70) C (69～60) D (59～0) 出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、前項の評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 成績評価の記載方法は以下の通りとなる。 <ul style="list-style-type: none"> a. 成績評価はA、B、C、Dの4段階とする。 b. GPA（成績評価平均値）とは、A=4、B=3、C=2、D=1とし、この数字に科目ごとの単位数を乗じたものを合計して総単位で除したものとする。 c. 単位の換算は、(1)講義及び演習については16時間(2)実験、実習及び実技については32時間で一単位とする。 前期、後期の各成績評価に算出されたGPAを基に、成績分布図を作成し、状況の把握と学生指導に活用する。また、GPAが下位4分の1にある場合と、年間出席率が80%以下となった場合には学校長から警告を与える。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/ ⇒2. 進級・卒業基準 ⇒5. 成績評価 参照</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、以下に示す能力を身につけ、各学科所定の期間在籍し、学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <p>【身につける能力】</p> <p>① 各学科が目指す業界・職種において即戦力となる資格・技能・知識 ② 社会で求められるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力 ③ 社会人としての常識とマナーを理解し実践できる力 ④ 心身ともに健全であるための自己管理能力 ⑤ 公共心と公德心をもち、社会のために行動できる力</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率 90%以上 ② 成績評価が全科目 C 以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得</p> <p>・卒業に必要な検定は、学科ごとに定めるものとする。(学生の手引きに明記し、学生全員に配布・説明をおこなっている。)</p> <p>・CFP ポイントとは、カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの略称で、本校の教育方針のひとつでもある「すぐれた技能・知識の習得」「人間力の向上」の実現を目指し、各種行事・活動・イベントの参加およびボランティア活動を通じて、社会性を身に付け、公共心、公德心を養うことを目的としたプログラムである。これら各活動に参加することでポイントが付与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>NBC 新潟ビジネス専門学校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	自校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
収支計算書又は損益計算書	自校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
財産目録	自校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
事業報告書	自校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
監事による監査報告（書）	自校ホームページに掲載 URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業事務		商業実務専門課程	医療秘書・事務学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,770 単位時間	1,009 単位 時間	296 単位 時間	465 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,770 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
125人		95人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療秘書・医療事務員を育成することを目的とする。そのために医療秘書検定・医療事務管理士試験の学習を通して医療秘書・医療事務員としての専門知識の習得を図るとともに、医療機関で用いられるコンピュータの操作技術を習得する。また、病医院接遇実習・病院実習を通して現場に即した患者対応・患者補助の知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p>

医療秘書・事務学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
成績評価の基準・方法 (概要) ・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準 (概要) 【卒業条件】 ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 【進級条件】 ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得
学修支援等 (概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
56人 (100%)	0人 (0%)	53人 (94.6%)	3人 (5.4%)
(主な就職、業界等) 医療機関、歯科医院、調剤薬局			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事務技能管理士認定試験 医科 52名合格 1年次取得率100% ・医療秘書技能検定試験1級 3名合格 ・日本医療秘書学会 最高賞「日野原重明賞」受賞
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>医療秘書技能検定試験1級 24年連続合格者全国占有率No.1</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	2 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 人間関係構築上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	IT 医療情報学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,775 単位時間	538 単位 時間	167 単位 時間	223 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			928 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10 人		7 人	0 人	4 人	1 人	5 人	

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要）本学科は、各種医療機関において活躍できる医療情報管理スタッフやシステム管理スタッフを育成することを目的とする。そのために医療事務管理士試験やITパスポートの学習を通して専門知識の習得を図るとともに、医療機関で用いられるコンピュータの操作技術を習得する。また、病院実習を通して現場に即した患者対応・患者サポートの知識を学ぶとともに、豊かな人間性と協調性を身に付ける。</p> <p>この目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>IT医療情報学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本人への電話連絡 ② 保護者との連携 ③ 三者面談 ④ 家庭訪問 ⑤ スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)
(主な就職、業界等) 2020年度新設学科のため実績なし			
(就職指導内容) 2020年度新設学科のため実績なし			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2020年度新設学科のため実績なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) 2020年度新設学科のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 2020年度新設学科のため記載なし		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	調剤薬局・登録販売者学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,860 単位時間	333 単位 時間	16 単位 時間	610 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			959 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	9人	0人	2人	4人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「登録販売者試験を通して主にドラッグストアや調剤薬局での業務に必要な知識を身につけ、また現場対しての理解と豊かな人間性、協調性を身につけること」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>調剤薬局・登録販売者学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本人への電話連絡 ② 保護者との連携 ③ 三者面談 ④ 家庭訪問 ⑤ スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等) ドラッグストア、調剤薬局 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者試験 合格率 87.5% ・調剤事務管理士技能認定試験 合格率 87.5% ・リテールマーケティング検定3級 合格率 100% ・POP 広告クリエイター技能審査試験 合格率 96.4% 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医薬品・登録販売者学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,911 単位時間	446 単位 時間	79 単位 時間	427 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			952 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		16人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「登録販売者試験を通して主にドラッグストアや調剤薬局での業務に必要な知識を身につけ、また現場対しての理解と豊かな人間性、協調性を身につけること」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>医薬品・登録販売者学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得

<p>【進級条件】</p> <p>① 1年次の出席率 90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目 C 以上</p> <p>③ 進級に必要な CFP ポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>① 本人への電話連絡</p> <p>② 保護者との連携</p> <p>③ 三者面談</p> <p>④ 家庭訪問</p> <p>⑤ スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (100%)	-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)
(主な就職、業界等) 2020 年度新設学科のため実績なし			
(就職指導内容) 2020 年度新設学科のため実績なし			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 2020 年度新設学科のため実績なし			
(備考) (任意記載事項)			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	販売スペシャリスト学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,749 単位時間	805 単位時間	95 単位時間	849 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,749 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		26人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は「流通業界で唯一の公的士格であるリテールマーケティング検定への合格と、小売業、サービス業の現場で役立つ各種スキルの習得」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>販売スペシャリスト学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末(9月)、後期末(2月)の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験(または追試課題)を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	22人 (88.0%)	3人 (12.0%)
(主な就職、業界等) 小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・リテールマーケティング検定3級合格率 90.5% ・リテールマーケティング検定2級合格率 100% ・色彩検定3級 合格率 90.9% 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	オフィスビジネス学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,816 単位時間	876 単位 時間	104 単位 時間	836 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,816 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	35人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「ソフト活用を主目的として、office ソフトの活用はもちろんのこと、最新の IT 技術の業務への導入を推進できる人材を育成している。また、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>オフィスビジネス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表には A、B、C、D の評価と、成績評価の客観的指標として GPA によるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率 90%以上 ② 成績評価が全科目 C 以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要な CFP ポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率 90%以上 ② 成績評価が全科目 C 以上 ③ 進級に必要な CFP ポイントの取得

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡 ②保護者との連携 ③三者面談 ④家庭訪問 ⑤スクールカウンセラー</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)
(主な就職、業界等) IT業、卸売業、商社、サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・情報処理技能検定3級合格率 78.6% ・MOS Word2016 Expert 合格率 75.0% ・MOS PowerPoint2016 合格率 94.4%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	4.5%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネス秘書・事務学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,816 単位時間	1,044 単位時間	104 単位時間	668 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,816 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	39人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「秘書・接遇マナー習得を主目的として、簿記会計、税務などの知識を習得し、事務処理能力を備えた人材を育成している。また、秘書・接遇マナーに加えて、社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協調力・実行力を養うために、グループワークや各種ボランティアを取り入れている」。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ビジネス秘書・事務学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得 <p>【進級条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 進級に必要なCFPポイントの取得

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>① 本人への電話連絡</p> <p>② 保護者との連携</p> <p>③ 三者面談</p> <p>④ 家庭訪問</p> <p>⑤ スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (%)	18人 (85.7%)	3人 (14.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>金融業、卸売業、小売業、サービス業 など</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘書技能検定1級 合格者2名（県内専門学校生唯一） ・全経簿記検定試験 工業簿記2級 合格率 95.7% ・ビジネス文書検定3級 合格率 100% 			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>中途退学0名のため記載なし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	イベントビジネス学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,816 単位時間	784 単位 時間	215 単位 時間	817 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,816 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	62人	0人	4人	1人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は「イベントに関する知識、企画立案方法、広告制作の基礎知識などを学び、イベント会社、商店街振興組合および広告制作会社と連携を結び、インターシップ等の参加により、イベントを企画・運営し、効果的な集客ができる知識と技術を身に付けることを目的とする」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>イベントビジネス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得

<p>【進級条件】</p> <p>① 1年次の出席率90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目C以上</p> <p>③ 進級に必要なCFPポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	18人 (94.7%)	1人 (5.3%)
(主な就職、業界等) イベント企画・運営業、小売業、ホテル業、各種サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・MOS Word2016 合格率 100% ・MOS PowerPoint2016 合格率 94.1% ・ACA PhotoshopCC 合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	2人	0%
(中途退学の主な理由) 就職への進路変更、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	事業創造学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,756 単位時間	709 単位 時間	215 単位 時間	832 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			1,756 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35人		27人	11人	4人	4人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本学科の目的は「将来に起業することを目的として経営基礎知識の習得とマーケティング知識や各種コンピュータ技術、コミュニケーション技術の向上を目指す。また、実力を養うために実習を行い社会人基礎力の向上に努める」である。目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>事業創造学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得

<p>【進級条件】</p> <p>① 1年次の出席率90%以上</p> <p>② 成績評価が全科目C以上</p> <p>③ 進級に必要なCFPポイントの取得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。</p> <p>①本人への電話連絡</p> <p>②保護者との連携</p> <p>③三者面談</p> <p>④家庭訪問</p> <p>⑤スクールカウンセラー</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	6人 (66.7%)	3人 (33.3%)
(主な就職、業界等) セールスプロモーション・医療機器メーカー、携帯販売業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・MOS Word2016 合格率 100% ・MOS PowerPoint2016 合格率 94.1% ・社会人常識マナー検定3級 87.5%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	2人	6.9%
(中途退学の主な理由) 学費未納、目的意識の低下【いずれも留学生】		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネスライセンス学科	—	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	996 単位時間	461 単位 時間	88 単位 時間	447 単位 時間	0 単位 時間	0 単位 時間
			996 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
5人	3人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本学科の目的は、簿記会計、税務などの知識を習得し、コンピュータ会計等の経理学習を取り入れることで、事務処理能力を備えた人材を育成している。また、目的を達成するため、以下のシラバスに基づき授業を行う。</p> <p>なお、シラバスは年度初めを提出期日として、各科目担当者が指定のシラバスフォームに沿って作成を行っている。</p> <p>ビジネスライセンス学科 シラバス一覧 https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則として科目毎に前期末（9月）、後期末（2月）の時点でそれぞれ1回の評価を行う。 ・成績評価は、検定取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況、科目終了時の評価等の資料によってなされる。 ・成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントと、取得単位が記載される。 ・出席時数が授業時数の10分の8に達していないものは、その科目については、評価を受けることができない。したがって追試試験（または追試課題）を課すことで履修の機会を与える。追試試験・追試課題に合格した場合の成績評価はC評価となる。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【卒業条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業年次の出席率90%以上 ② 成績評価が全科目C以上 ③ 卒業に必要な検定に合格 ④ 卒業に必要なCFPポイントの取得

学修支援等
(概要) クラス担任制を採用しており、長期欠席者への指導等の対応として以下の通り実施している。 ① 本人への電話連絡 ② 保護者との連携 ③ 三者面談 ④ 家庭訪問 ⑤ スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (%)	2人 (33.3%)	4人 (66.7%)
(主な就職、業界等) 製造業、サービス業 など			
(就職指導内容) ・就職部における全校指導と、クラス担任による個別指導。 ・校内全職員による、項目別弱点強化指導。 ・独自の合同企業ガイダンスや校内での個別企業ガイダンスを開催。 ・全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) 本学科は、期中の学科変更を認めているため、当初在学者数より2名増えている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学0名のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費分納制度、奨学制度の充実、外部産業カウンセラーの活用、教員のカウンセリング技術向上のための研修、適性検査による学生状況の把握など。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書・事務学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
IT 医療情報学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
医薬品・登録販売者学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
販売スペシャリスト学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
オフィスビジネス学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
ビジネス秘書・事務学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
イベントビジネス学科	70,000 円	470,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
事業創造学科	70,000 円	450,000 円	260,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円
ビジネスライセンス学科	70,000 円	450,000 円	440,000 円	その他欄内訳 ・施設設備費 260,000 円 ・施設維持費 180,000 円
修学支援 (任意記載事項)				
特待入試、指定校推薦入試、AO 入試、一人暮らし支援制度、進路変更支援制度、SR 制度、NSG カレッジリーグ無利子奨学制度・母子父子家庭奨学金制度・学費分割納入制度・学費奨学融資				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校は教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努める。専修学校における学校評価ガイドラインを踏まえ、学校が行っている学生意識調査、保護者アンケート、その他の資料に基づく自己評価に対して、学校関係者評価委員会から毎年度末に評価を受ける「学校関係者評価」を実施し、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえた学校の改善に取り組む。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
Ar t 税理士法人	2019年4月1日～2021年3月31日	税理士
株式会社 フェージョンズ	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員（小売業・サービス業）
株式会社 新宣	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員（サービス業・イベント業）
医療法人社団 阿賀歯科 阿賀町鹿瀬歯科診療所	2019年9月1日～2021年8月31日	企業等委員（医師）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） NBC 新潟ビジネス専門学校 ホームページ URL: https://www.nbc.ac.jp/zyouhou/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	新潟ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考) 申請年度が修学支援制度初年度のため実績なし				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。